

「国語は勉強してもしなくても変わらない」という誤解

—高校、予備校、大学の現場から見た国語教育の現状と、二〇二〇年以降の大学入試—

深刻な語彙力不足

学力危機
「問題文」の「目」の語彙を調べたところ、6年生は「苦」が調べられず、「目」の語彙を調べたところ、6年生は「苦」が調べられず、「目」の語彙を調べたところ、6年生は「苦」が調べられず...

問題文を理解できず



「問題文」の「目」の語彙を調べたところ、6年生は「苦」が調べられず、「目」の語彙を調べたところ、6年生は「苦」が調べられず...

新大学入試20年にも1点刻み廃止、年に複数回

2020年以降の大学入試は、1点刻みの廃止、年に複数回の実施が予想されています。これは、従来の入試方式から大きく変わることを示しています。



国語力をつけることが成績アップの鍵

「英語は絶対必要だ」と言う人は多いが、それでは国語はできなくてもいいのか？ もし、あなたが「国語は勉強してもしなくても変わらない」と考えているとすれば、それは大きな誤解である。国語力は鍛えることができるし、国語力が上がれば、他の教科の成績も上がるのである。高校、予備校、大学の教育の現状とともに、2020年以降の大学入試がどう変わるかについても論じる。

在学生・卒業生の皆さん、とりわけお子様をお持ちの卒業生の方々や、ひろく教育関係に従事なさっている外部の方々の御参加を心よりお待ちしております。

講師：秋本 吉徳

清泉女子大学日本語日本文学科教授



【講師プロフィール】

清泉女子大学文学部日本語日本文学科教授。専門は日本古代文学・芸能史。大学教員となる以前は私立武蔵高等学校で教鞭をとった経験を持つ。大学教員として学生を教育する傍ら、現在まで約40年間、駿台予備学校講師として、「国語」、特に古文の受験指導にも携わってきた。高校、予備校、大学のすべての現場を知る貴重な存在である。

【日時】 5月7日（日）15:00～16:30 **【場所】** 清泉女子大学 240 教室
【申込方法・期限】 4月25日（火）まで。FAXの場合：別紙参加票をご送信ください。／E-mailの場合：件名を「特別講演会参加希望」として、学校名、お名前、ご住所、お電話番号をお知らせください。／お電話でもお申込みいただけます。
【問合せ先】 清泉女子大学 入試課 TEL：03-5421-3231（直通）、0120-53-5363（入試専用フリーダイヤル）
 FAX：03-5421-3469 E-mail：nyushi@seisen-u.ac.jp